

粕谷和夫の観察日記より。アオジです。アオジは夏の間に標高の高いところに移動、そこで子育てをして冬は平地に下りてきて越冬します。この写真は本日（11月1日）多摩川の河原（八王子市内）で撮りました。アオジは藪の中に潜んでいて姿をあまり見せませんが、本日は目の前に現れてくれました。

紅葉台



新聞

第160号
2024年
12月14日
発行人：関谷 孝

かがくい ひろし の世界展 夢美術館



先日、八王子市夢美術館で「かがくいひろしの世界展」がありました。皆さんもきっとどこかで見たことのある絵だと思えます。温かくユーモアがあって誰もが笑顔になります。

絵本「だるまさん」シリーズは、累計発行部数900万を超えます。加岳井広（漢字表記）さんは、特別支援学校のベテラン教師でした。50歳で作家デビューし病で急逝するまでのわずか4年間に珠玉の絵本を次々に生み出しました。加岳井さんの絵本は長年にわたる障がい児教育の現場経験で培われた知見や実感から生み出されています。絵本の原画や制作資料と共に貴重な映像資料や生徒たちと作った教材などから足跡をたどり、子どもたちが自然に体を動かし笑顔にしていく絵本の魅力を伝えていきます。



どんな人なのかを知る良い機会になり、もっと加岳井さんのことを知ってもらいたいと思いました。1955年、生まれは東京都。4番目の末っ子でした。父親は建築士で作業場が遊び場でした。長女は障害があり、母親は付きっきりでしたのでほとんど兄弟に面倒を見てもらっていました。その長女は加岳井さんが4歳の時に亡くなりました。加岳井さんは、その時の母の憔悴を目の当たりにしました。それが教師への動機になったのではと。また、子供のころから人を喜ばすのが得意でした。廃材の鉋屑で遊ぶのが好きで子供のころの体験が大きくかかわっています。初めは東京芸術大学を目指していましたが3浪の末に学芸大学教員養成コースの美術に進路を変えます。卒業と同時に障がい児の義務教育が始まり、免許を取得し障がい児教育に携わります。どうしたら子供たちが楽しく学べるか様々な工夫をし、その中から生まれたのがだるまちゃんの絵でした。アイデアノートにひらめいたことを沢山書き留めたものが展示されていました。単なる絵本というより子供たちが学んでいくための教材のようでした。生き物や野菜などが怒ったり笑ったり表情も豊かでいろんなことをします。分かりやすくそして何より明るく楽しい絵本です。生徒たちの笑い声が本当に創作へのエネルギーになったと書いてありました。



展示品の中から、印象に残ったところをそのまま紹介します。「加岳井の絵本を読み聞くと子供たちがリズムに乗って身体を揺らし、歌うように口ずさみ、ケタケタ

笑い転げます。たとえ身体が思うように動かなくても言葉を持たなくてもつながり笑い合える。作家が半生をかけて教育の現場で積み上げた実感、思い、願いそのすべてを注ぎ込まれた果実のような絵本は、時を超えてこんなにも多くの人の心をとらえているのかもしれない」。



妻久美子さん。「加岳井は芸術性で人を圧倒するのではなく、皆さんに共感してもらうのを望んでいたところがあります。彼の創作の根底にあるのはコミュニケーションなんです。「サウンド・オブ・ミュージック」でマリアを演じたジュリーアンドリュースがだいすきなんです。ギターを弾いて、歌を歌って、人形劇をやって、トラップ一家の無表情の子供たちがマリアに関わることで生き生きとした子供らしい笑顔見せる。加岳井も自分の才能をそんな風に使いたかったのでしょうか。作者のことを知るともっともっと絵本が好きになりました。是非絵本を手にとってご覧になってください！！

粕谷和夫の観察日記



薬用効果が高く、食用にもなる**枸杞（クコ）**の赤い実は秋が深まると野山に目立ってきます。この写真は10月26日、川沿いの危険防止のネットに絡まったクコの枝で実のほかに花が咲いていました。野生化したクコは雑草並みに蔓延っています。



9月16日に雑木林の樹洞で温度を下げるために扇風機代わりに風を送っている写真を配信しました。こちらは、雑木林の地下に営巣している**スズメバチ**です。巣穴をほって土を団子状に丸めてそれを啜って巣穴の外に運び出している場面を撮影できました。気が遠くなるような作業ですね。



秋になると外来種のコセンダングサの花が野原や農地に目立ちます。この花には花びらが無く、種が引っ付き虫になります。蜜が多いためか多くの昆虫を引き付けます。この写真は10月22日川町谷戸（八王子）で上が**セイヨウミツバチ**、下が**オオハナアブ**です。ミツバチは後ろ足に黄色い「花粉団子」も付けています。

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。